

不確実な未来を切り拓くための

経営・経済・国際問題・政治・社会に関する問題等の深奥の情報を提供

2024年度 九州生産性大学経営講座

第50回

月例トツプを囲む懇談会

～大変革期を生き抜くイノベーション経営実現のために～

期 間

2024年4月～12月

開講課程

(収録分を4月24日～5月31日オンライン配信)

月例会

5月～11月(各1日 ※8月休み)

修了課程

12月(1日・全コース合同)

対 象

経営トツプ

役員(取締役、監査役)クラスの方

労働組合の幹部の方

※1口2名登録制となります。毎月の例会ごとに交代
又は代理の方にご出席いただいても結構です。

会 場

(月例会) 5～6月、9～11月

西鉄グランドホテル

〈福岡市中央区大名2丁目6-60〉

7月

ソラリア西鉄ホテル福岡

〈福岡市中央区天神2丁目2-43〉

(修了課程) 福岡国際会議場

〈福岡市博多区石城町2-1〉

各 位

月例「トップを囲む懇談会」ご参会のお願い

九州生産性大学の創設から16期目(1975年)にスタートした「トップを囲む懇談会」は、今年で50年目を迎えることになります。これまで九州・山口地域の産業界から延べ4,120名の方々にご参加をいただいております、これもひとえに皆様方の本会に対する賛意の賜と深く感謝申し上げます。

さて、コロナ禍を経て、わが国経済は、社会・経済活動の正常化が進み、インバウンドの回復は日本の実質GDPの成長率を押し上げています。一方で、ウクライナ戦争やイスラエル問題と言った国際情勢不安が世界経済への追い打ちをかけ、資源価格や原材料価格の高騰や物価の上昇が企業活動や家庭生活にも大きな影響を及ぼしております。また、覇権主義の拡大に国際秩序が揺らいでおり、日本も防衛費の増加への対応など、内外の政治・経済情勢は不確実性を強めています。

わが国は、構造的問題である少子・高齢化による労働力人口の減少の中で人手不足や若手の離職も深刻化しており、AIやIoT等のデジタル技術による更なる生産性向上と成長分野への労働力の移行、またそれを支える多様な働き方の推進が急務となります。

このような不確実性の高い時代を企業が生き残り、更なる成長・発展を遂げるためには、グローバルな視点のもとより、経営革新・イノベーションによる新たな価値の創造が求められることになります。

本トップを囲む懇談会では、経営や人・組織の高次元化や、進むべき方向への意志決定にお役立ただけできるよう、各界で活躍されている一流講師を招聘し、経営・経済・労働・国際問題・未来技術・政治等について、最新かつメディアでは露出しない深奥の情報を提供してまいります。

時節柄ご繁忙のこととは存じますが、貴台をはじめ、貴組織の幹部各位には是非ともご参会賜りますよう切にお願い申し上げます。

2024年 2月

公益財団法人九州生産性本部 会長 酒 見 俊 夫
(西部ガスホールディングス株式会社 代表取締役会長)

九州生産性大学経営講座 理事長 小笠原 浩
(株式会社安川電機 代表取締役会長)

開講
課程

配信期間

4月24日(水)
)
5月31日(金)

【開講課程のみ、収録分をオンライン配信】

開講式(挨拶)・オリエンテーション

講演①「グローバル金融経済の見通し」

(60分)

BNPパリバ証券株式会社
経済調査本部長チーフエコノミスト

河野 龍太郎 氏



講演②「ウィニングカルチャーと
エンゲージメント」

(60分)

株式会社チームボックス 代表取締役
日本オリンピック委員会(JOC) サービスマネージャー

中竹 竜二 氏



13:30~13:40 オリエンテーション

13:40~14:40

講演①「イノベーションを生み出す思考法
～創造のプロセスをマーケティング思考の観点から～」

ケイアンドカンパニー株式会社 代表取締役社長
元 ネスレ日本株式会社 代表取締役社長兼CEO

高岡 浩三 氏



15:00~16:00

講演②「職場のトリセツ
～心理的安全性を確保する対話術～」

株式会社感性リサーチ
代表取締役

黒川 伊保子 氏



16:10~17:00

修了式(修了証書授与)および優秀レポートの表彰

17:20~18:40

第66期九州生産性大学経営講座
修了記念パーティ(会場:福岡国際会議場)

※ 12月修了課程は、九州生産性大学の全コース合同となります。

12月
修了
課程

全コース合同

12月12日(木)

福岡国際会議場

【月例会プログラム】

5月
例会

5月24日(金)

西鉄グランドホテル

13:30~14:50

講演 「日本経済の行方とこれからの企業経営」

経済ジャーナリスト
作家 渋谷和宏氏



<休憩 14:50 ~ 15:10>

15:10~16:30

講演 「さよならイノベーション」

一橋大学 名誉教授
法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科 教授 米倉誠一郎氏



6月
例会

6月11日(火)

西鉄グランドホテル

13:30~14:50

講演 「国際エネルギー情勢とエネルギーセキュリティ」

(一財)日本エネルギー経済研究所
専務理事 首席研究員 小山堅氏



<休憩 14:50 ~ 15:10>

15:10~16:30

講演 「日本政治の課題と行方」

政治アナリスト 伊藤惇夫氏



7月
例会

7月19日(金)

ソラリア西鉄ホテル福岡

13:30~14:50

講演 「2024年アメリカ大統領選
~世界秩序・リベラリズムの行方~」

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科
准教授 三牧聖子氏



<休憩 14:50 ~ 15:10>

15:10~16:30

講演 「脅威アクターとその活動(サイバー攻撃等)の時系列分析で見出されたこと
~企業がビジネスと顧客を守るために取るべきアクション~」

(株)サイバーディフェンス研究所
専務理事/上級分析官 名和利男氏



(※8月はお休み)

9月
例会

9月12日(木)

西鉄グランドホテル

13:30~14:50

講演 「人とAIは協働できるのか
~AI研究の現状と未来への提言~」

国立情報学研究所 教授
人工知能学会 元会長・顧問 山田 誠二氏



..... <休憩 14:50 ~ 15:10>

15:10~16:30

講演 「エステーのブランド価値経営とデザイン革命」

エステー(株) 会長 鈴木 貴子氏



〈メンバー懇親会~夕食会を兼ねて~〉16:50~18:30

10月
例会

10月17日(木)

西鉄グランドホテル

13:30~14:50

講演 「固定化する米中対立と日本の安全保障」

笹川平和財団 安全保障研究グループ
上席フェロー 小原 凡司氏



..... <休憩 14:50 ~ 15:10>

15:10~16:30

講演 「人が定着する現場・組織づくり
~労使トップに是非知っておいてほしい人事・労務の勘所~」

(株)オフィスあん 代表取締役
社会保険労務士・人事コンサルタント 松下 直子氏



13:30~14:50

講演 「メンバーの心を燃やす組織マネジメント」

100年プランニング(株) 代表取締役
元 キリンビール(株) 代表取締役副社長 田村 潤氏



..... <休憩 14:50 ~ 15:10>

15:10~16:30

講演 「世界経済・日本経済の展望」

(株)大和総研 副理事長 熊谷 亮丸氏



11月
例会

11月15日(金)

西鉄グランドホテル

渋谷 和宏 (しばや かずひろ) 氏

経済ジャーナリスト・作家

1959年横浜市生まれ。1984年3月法政大学経済学部卒業、同年4月日経BP社入社。日経ビジネス副編集長などを経て2002年「日経ビジネスアソシエ」を創刊、編集長に。06年4月18日号では10万部を突破(ABC公査部数)。ビジネス局長(日経ビジネス発行人、日経ビジネスオンライン発行人)、日経BPnet総編集長などを歴任、14年3月末、日経BP社を退職、独立。大正大学表現学部 客員教授。

1997年に情報ミステリー小説「錆色(さびいろ)の警鐘」(中央公論新社)で作家デビュー。経済ノンフィクション「稲盛和夫独占に挑む」(日本経済新聞出版社)などをペンネーム渋谷和樹で執筆。また、ペンネーム井伏洋介として青春群像小説「月曜の朝、ぼくたちは」(幻冬舎)、「さよならの週末」(幻冬舎)を上梓。本名(渋谷和宏)としては「日本の会社員はなぜ「やる気」を失ったのか」(平凡社新書)、「IRはニッポンを救うか?それとも超大型リポート?」(マガジンハウス)、「知っておきたいお金の常識」(角川春樹事務所)、「100年に1度の経済学」(総合法令出版)などを上梓。「シューイチ」(日本テレビ)、「森本毅郎・スタンバイ!」(TBSラジオ)など、コメンテーターとしても活躍。

米倉 誠一郎 (よねくら せいいちろう) 氏

一橋大学 名誉教授

法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科 教授

(一社)Creative Response Social Innovation School 学長

東京生まれ、ハーバード大学歴史学博士PhD。一橋大学社会学士(1977)・経済学士(1979)・社会学修士(1981)、ハーバード大学博士(1990)。専攻は、イノベーションを核とした経営戦略と組織の歴史的研究。

学外活動では、ソニー戦略室長、プレトリア大学日本研究センター所長などを経て、「一橋ビジネスレビュー」編集委員長を兼務。

現在、(公財)日本ファミリーマネジメント協会会長、(株)教育と探求社 社外取締役、インフロン・ホールディングス(株) 社外取締役、NPO法人e-Education アドバイザー、NPO法人クロスフィールズ アドバイザー、NPO法人ティーチャーズ・イニシアティブ 理事などを務める一方、ベンチャー企業の顧問・アドバイザーも務めている。

著書に、「経営革命の構造」(岩波新書)、「創発的破壊:未来をつくるイノベーション」(ミシマ社)、「オープンイノベーションのマネジメント」(有斐閣)、「2枚目の名刺:未来を変える働き方」(講談社)、「イノベーターたちの日本史」(東洋経済新報社)、「松下幸之助さみならで、必ずできる」(ミネルヴァ書房)など多数。最新刊は「シリコンバレーは日本企業を求めている 世界が羨む最強のパートナーシップ」(ダイヤモンド社)。

趣味はロックンロールとゴルフ。

小山 堅 (こやま けん) 氏

(一財)日本エネルギー経済研究所 専務理事 首席研究員

1986年3月早稲田大学大学院経済学修士修了。1986年4月日本エネルギー経済研究所入所、95年英ダンディ大学博士課程留学、2001年6月博士号取得、20年6月専務理事 首席研究員 戦略研究ユニット担任、23年7月専務理事 首席研究員 研究戦略ユニット担任(現職)。

専門はエネルギー安全保障、国際石油・エネルギー情勢分析。

東京大学公共政策大学院 客員教授、東京工業大学科学技術創成研究院 特任教授を務め、長期エネルギー需給見通し委員会委員等の政府審議会委員の公職も多数。

2023年3月柏木孝夫GX賞「研究賞」受賞、23年7月The OPEC Award for Research 受賞他。

主な著書に「地政学から読み解く!戦略物資の未来地図」(あさ出版)、「エネルギーの地政学」(朝日新聞出版)、「激震走る国際エネルギー情勢」(エネルギーフォーラム)、「中東とISの地政学-イスラーム、アメリカ、ロシアから読む21世紀」(共著、朝日新聞出版)。

伊藤 惇夫 (いとう あつお) 氏

政治アナリスト

1948年神奈川県生まれ。学習院大学法学部卒。

1973年自民党本部勤務、以後、主に広報を担当。89~92年には自民党政治改革事務局主査補として「政治改革大綱」等の作成にあたる。1994年自民党本部退職、1995年新進党事務局勤務。総務局企画室長、1996年新進党退職。太陽党結成に参加 事務局長、1998年民進党結成 事務局長、1998年民主党結成 事務局長、2001年民主党退職。

現在は、政治アナリストとして活動。また、「ワイドナショー」(フジテレビ)、「ひるおび!」(TBS)、「ワイド!スクランブル」(テレビ朝日)、「深層ニュース」(BS日テレ)など、テレビ番組にも多数出演。

三牧 聖子 (みまき せいこ) 氏

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科 准教授

2003年東京大学教養学部卒、2012年同大学院総合文化研究科で博士号取得(学術)。

日本学術振興会 特別研究員、早稲田大学 助手、米国ハーバード大学、ジョンズホプキンス大学 研究員、高崎経済大学 准教授等を経て2022年より現職。

Yahoo! JAPAN国際関係エキスパート、「朝日新聞」書評委員・コメンテーター。研究分野は国際関係、アメリカ政治外交研究。

著書に「戦争違法化運動の時代-『危機の20年』のアメリカ国際関係思想」(名古屋大学出版会、アメリカ学会清水博賞)、「Z世代のアメリカ」(NHK出版新書)、共訳・解説に「リベラリズム-失われた歴史と現在」(ヘレナ・ローゼンブラット著、青土社)など。

名和 利男 (なわ としお) 氏

(株)サイバーディフェンス研究所 専務理事/上級分析官

海上自衛隊において護衛艦のCIC(戦闘情報中枢)の業務に従事した後、航空自衛隊においてプログラム幹部として信務暗号・通信業務/在日米空軍との連絡調整業務/防空指揮システム等のセキュリティ担当業務に従事。その後JPCERTコーディネーションセンター 早期警戒グループのリーダー等を経て、サイバーディフェンス研究所に参加。

専門分野であるインシデントハンドリングの経験と実績を活かして、CSIRT(Computer Security Incident Response Team)構築、及びサイバー演習(机上演習、機能演習等)の国内第一人者として支援サービスを提供。最近は、サイバーインテリジェンスやアクティブディフェンスに関する活動を強化中。

山田 誠司 (やまだ せいじ) 氏

国立情報学研究所 教授
人工知能学会 元会長・顧問

1989年大阪大学大学院博士課程を修了後、同大学助手、講師、1996年東京工業大学大学院 助教授を経て、2002年より現職。専門は人工知能、HAIヒューマンエージェントインタラクション。ここ10年の研究テーマは「人間と協調する人工知能」であり、現在HAI、IIS知的インタラクティブシステムを中心に様々な研究プロジェクトを推進中。人工知能学会 元会長・顧問。近著に「本当は、ずっと愚かで、はるかに使えるAI」(日刊工業新聞社)、「マインドインタラクション」(近代科学社)などがある。

鈴木 貴子 (すずき たかこ) 氏

エステー(株) 会長

1984年3月上智大学外国語学部卒業。日産自動車を経て2001年8月LVJ(ルイ・ヴィトン・ジャパン)グループ入社。2010年1月エステー入社営業本部付。同年4月執行役 カスタマー・サービス部門担当 兼 フレグランス・デザイン担当 兼 新規事業担当。11年6月取締役 兼 執行役 グループ事業戦略担当 兼 フレグランス・デザイン担当を経て、13年4月取締役 兼 代表執行役社長、21年6月同社取締役会議長 兼 代表執行役社長。2023年6月より同社会長、現在に至る。

小原 凡司 (おはら ぼんじ) 氏

笹川平和財団 安全保障研究グループ 上席フェロー

1985年防衛大学校卒業、海上自衛隊入隊。1998年筑波大学大学院(地域研究研究科)修了(修士)。2009年第21航空隊司令、2003年~2006年駐中国日本国大使館防衛駐在官(海軍武官)、2006年防衛省海上幕僚監部情報班長。2016年9月東京財団政策研究調整ディレクター、2017年6月笹川平和財団上席研究員を経て、2023年4月から現職。

海上保安庁 政策アドバイザー、慶應義塾大学SFC研究所 上席所員。研究分野は、中国の安全保障政策、米中関係、日米同盟、日本の安全保障政策。

単書に「中国の軍事戦略」(東洋経済新報社、2014年11月)等、共著に「アフター・シャープパワー―米中新冷戦の幕開け」(東洋経済出版社、2019年12月)、「台湾有事のシナリオ 日本の安全保障を検証する」(ミネルヴァ書房、2022年1月)、「ウクライナ戦争と激変する国際秩序」(並木書房、2022年11月)等

松下 直子 (まつした なおこ) 氏

(株)オフィスあん 代表取締役
(株)人事のまなび場 代表取締役
社会保険労務士・人事コンサルタント

神戸大学卒業後、江崎グリコ(株)に入社。新規開拓の営業職、報道担当の広報職、人事労務職を歴任。

2004年に独立し、社会保険労務士、人事コンサルタントとして顧問先の指導にあたる。

「人事屋」であることを生涯のライフワークと決意し、人事の学校(人事のまなび場【庵】)の主催や人事パーソン交流の場づくり、人事情報の発信など、幅広く人事の人材育成に意欲的に取り組んでいる。社会保険労務士、経営学修士(MBA)、国家資格キャリアコンサルタント、人事コンサルタント。

趣味は、バイクでのツーリング、船舶での航海、自動車でのドライブ、温泉めぐり等。座右の銘は「全力で腕力」

田村 潤 (たむら じゅん) 氏

100年プランニング(株) 代表取締役
元 キリンビール(株) 代表取締役副社長

1950年東京都生まれ。1973年キリンビール(株)入社。岡山工場労務課に配属され「現場重視」、「企業理念」、「平等の原則」といった、のちにキリンの営業組織を大きく改革した考え方を身につける。

その後、本社人事、労務部門を経て、営業部門に転出。1983年~91年大阪支店営業部、91年~94年本社商品企画部部長代理、本社営業部部長代理、95年~2001年高知支店長に就任。当時、同社内でも最下位ランクの高知支店において、県内トップシェアの奪回を実現。四国地区本部長、東海地区本部長を経て、2007年代表取締役副社長兼営業本部長に就任。全国の営業の指揮を執る。2009年、9年ぶりにキリンビールの全国でのシェア、首位奪回を果たした。2011年キリンビール(株)退職、同年100年プランニング代表となる。

営業の意識改革に着手し、業績V字回復を成し遂げた過程を著した「キリンビール高知支店の奇跡」(講談社+α新書)は23万部を超えるベストセラーとなる。

その他に「負けセ社員たちを戦う集団に変えるたった一つの方法」(PHP研究所)、「人生に奇跡を起こす営業のやり方」(対談集/PHP新書)、「やる気の正体」(対談集/ビジネス社)。

熊谷 亮丸 (くまがい みつまる) 氏

(株)大和総研 副理事長

1966年生まれ。89年東京大学法学部卒業後、日本興業銀行(現みずほ銀行)入行。同行調査部などを経て、2007年(株)大和総研・シニアエコノミスト。10年同社・チーフエコノミスト。14年同社・執行役員チーフエコノミスト。15年同社・執行役員調査本部副本部長チーフエコノミスト。17年同社・常務執行役員調査本部副本部長チーフエコノミスト。18年同社・常務取締役調査本部副本部長チーフエコノミスト。20年同社・専務取締役調査本部長チーフエコノミスト。2021年より現職。内閣官房参与【経済・金融担当】(2020年~)、政府税制調査会 特別委員(2020年~23年)、委員(2024年~)、全世代型社会保障構築会議 委員(2021年~)、財務省 財政制度等審議会臨時委員(2021年~23年)、委員(2023年~)、特定複合観光施設区域整備推進会議 委員(2017年~)、金融庁 ソーシャルボンド検討会議 委員(2021年~)、経済同友会 幹事(2018年~)、経済情勢調査会 委員長(2019年~)、東京証券取引所市場区分の見直しに関するフォローアップ会議 メンバー(2022年~)等の公職を歴任。

著書は、「ポストコロナの経済学~8つの構造変化の中で日本人はどう生きるべきか?~」(日経BP)、「この一冊でわかる世界経済の新常識2024」(日経BP監修・共著)他多数。

九州生産性大学経営講座～九州一の歴史と規模を誇るマネジメントスクール～

概要

九州産業界の提唱により、昭和34年に創設された総合の人材育成機関であり、地元企業・労組はもとより、様々な組織・団体からご参加いただき、これまでに2,166組織、29,242名の方々が本講座を修了されております。

本年度は、

- ①トップを囲む懇談会をはじめとして、②経営戦略コース ③マネジメント能力開発コース ④主任・係長育成コース
- ⑤人事戦略コース ⑥経営財務コース ⑦コストダウン実践コース ⑧マーケティング戦略コース
- ⑨ビジネス法務コース ⑩キャリアデザインコース ⑪U-29 未来キャリアコース
- ⑫データドリブン基本コース(オンライン特設コース)

以上12コース編成で実施いたします。

理事・運営委員名簿

2024年1月1日現在(50音順・敬称略)

理事長

小笠原 浩 (株)安川電機 代表取締役会長

理事

池 辺 和 弘	九州電力(株)	代表取締役社長執行役員	杉 田 浩 二	(株)宮崎銀行	代表取締役頭取
上 野 総一郎	南国殖産(株)	代表取締役社長	中 田 昌 宏	日本製鉄(株)	常務執行役員九州製鉄所長
江 川 和 宏	黒崎播磨(株)	代表取締役社長	長 尾 亜 夫	西日本鉄道(株)	相談役
甲 斐 隆 博	(株)肥後銀行	代表取締役会長	永 田 理	トヨタ自動車九州(株)	代表取締役社長
後 藤 富一郎	(株)大分銀行	代表取締役頭取	森 拓二郎	(株)十八親和銀行	取締役会長

運営委員

運営委員長 津 野 喜久代 九州電力(株) 執行役員人材活性化本部長
副運営委員長 下 田 雅 彦 三和酒類(株) 取締役会長

青 柳 直	九州労働金庫	専務理事	白 浜 和 也	(株)佐賀銀行	人事部部長
阿 部 真 一	(株)上電機製作所	製造本部生産・改善統括部生産技術グループマネージャー	宗 田 賢 治	三菱重工業(株)	長崎造船所所長代理
石 谷 賢 信	西日本鉄道(株)	人事部人財開発課課長	田 中 勉	(株)正興電機製作所	取締役常務執行役員
井 手 義 雄	(社医)雪の聖母会	聖マリア病院 理事長	田 中 義 昭	(株)RKKCS	経営管理本部人事部門マネージャ
井 上 英 夫	佐賀西信用組合	理事長	種 本 大 悟	日産自動車九州(株)	工務部生産計画課IE・APW推進室主任
井 原 高 士	(株)大分銀行	人財開発部長	恒 松 孝 二	(株)九電工	理事九電工アカデミー学長
井 別 府 誠	熊本トヨタ自動車(株)	代表取締役社長	鶴 田 利 浩	東亜工機(株)	取締役総務部長
衛 藤 健 三	小倉合成工業(株)	代表取締役社長	徳 戸 永 勝 之	(株)肥後銀行	人事部部長
江 夏 拓 三	(株)大銀経済経営研究所	代表取締役	優 戸 田 弘 明	日本製鉄九州製鉄所	生産技術部IE・ソリューション室 主幹
大 嶋 宗 春	霧島ホールディングス(株)	代表取締役専務	中 嶋 松 宏 一	九州旅客鉄道(株)	人事部部長
大 平 正 男	西部ガスホールディングス(株)	理事グループガバナンス部長	永 濱 治 和 博	(株)オーレック	製造部部長
岡 園 勇 治	鶴崎海陸運輸(株)	人事部部長	早 坂 健	KMバイオロジクス(株)	人事部部長
尾 上 和 広	(株)SYSKEN	取締役経営管理本部長	林 いずみ	三菱ケミカル(株)	人事部Japan 人事部BP(九州)リーダー
小 川 浩 二	(株)宮崎銀行	人事部部長	原 慎 義 之	熊本製粉(株)	執行役員企画マーケティング部長
沖 本 浩 司	(株)岩田屋三越	取締役執行役員総務・経営企画部長	福 田 峻	九州旅客鉄道(株)	総務部法務室室長
金 子 亮 輔	西日本鉄道(株)	総務部法務担当部長	藤 原 行 紘	西部ガス労働組合	中央執行委員長
上 村 哲 司	イオン九州(株)	執行役員管理本部本部長兼経営企画部長	藤 本 孝 孝	西日本プラント工業(株)	人財管理部長
川 崎 貴 之	宮交ホールディングス(株)	常務取締役	本 田 彰 秀	(株)ケイ・テクノス	代表取締役社長
河 野 佳 奈	全山形屋労働組合	中央執行委員長	増 田 隆 男	西部ガスホールディングス(株)	人財戦略部長
喜 多 岡 勇 治	トキハ労働組合	執行委員長	増 永 百 合 江	日本製鉄八幡労働組合	組合長
京 田 清 人	福岡国際空港(株)	常勤監査役	裕 本 清 人	Gcomホールディングス(株)	コンプライアンス推進部部長補佐
串 宮 芳 重	南国殖産(株)	取締役執行役員総務・人事統括部長	松 本 幸 博	エコー電子工業(株)	代表取締役社長
古 賀 靖 朗	(株)電通九州	執行役員経営企画室長	村 上 芳 伸	(株)西日本シティ銀行	人事部人財開発室主任調査役
小 谷 茂 之	九州電力(株)	人材活性化本部人事部長	村 本 光 児	(株)安川電機	生産技術部生産基盤設計課課長
小 津 和 健 吾	(株)電盛社	ワイヤレスエンジニアリング部部長	森 山 一 繁	(株)博多大丸	取締役営業統括部長
小 林 謙 介	(株)福岡銀行	人事部部長	柳 瀨 健 吾	大電(株)	取締役電線事業部長
小 山 田 吉 宏	(株)博多大丸	取締役業務統括部長兼業務推進部長	山 口 大 輔	九州電力労働組合	本部書記長
崎 本 安 徳	(株)鹿児島銀行	人事部部長	山 口 芳 久	(株)十八親和銀行	人事部部長
貞 森 佐 土 志	日本郵政グループ労働組合	九州地方本部 執行委員長	山 崎 雅 行	TOTOアクアテック(株)小倉製造部	機器水栓小倉製品三課課長
佐 世 賢 文	九州電力(株)	地域共生本部法務部長	山 中 直 孝	日之出水道機器(株)	執行役員人財統括グループリーダー
塩 屋 幸 一 郎	(株)戸高鉱業社	執行役員総務部長	岡 雅 之	(株)グリーンクロス	管理部部長
四 重 秀 之	九州電力(株)	人材活性化本部社員研修所教育運営グループ長	吉 田 猛 功	TOTO(株)	執行役員財務・経理本部長
島 内 高 英	(株)新菱	経理部長	若 松 克 昌	黒崎播磨(株)	取締役常務執行役員
首 藤 和 彦	(株)新出光	代表取締役専務執行役員		(株)井筒屋	取締役常務執行役員
	松尾建設(株)	能力開発・人事部統括		九州電力(株)	人材活性化本部社員研修所教育計画グループ長
	三和酒類(株)	執行役員サポート本部長			

ご参会申込要領

1. 申込方法について

- (1) **WEBからのお申込みをお願いいたします。**お申込み後、当本部にて入力内容を確認した後に、「申込み確定メール」をお送りいたします。
- (2) 申込確定メールでは、①開講課程の受講証、②請求書、③開講課程の案内のURLをお送りします。お手数ですがWEBからダウンロードいただきますようお願いいたします。
- (3) セキュリティ上、WEBからのお申込みができない場合は、「九州生産性大学申込書(PDF版)」を当本部HPより出力し、必要事項をご記入の上FAXにてお申込みください。

申込締切日：2024年4月18日(木)

2. 参会費について (1口につき・消費税込 *1口2名登録制)

九州生産性本部賛助会員企業の方	341,000円
九州生産性本部ならびに九州労組生産性会議(九労生)の会員労組の方	170,500円
未会員企業・労組の方	429,000円

3. 参会費納入について

- (1) 請求書を出力(ダウンロード)いただき、記載の銀行口座にお振込をお願いいたします。
- (2) お支払い期限は4月開講課程オンライン配信開始日(4月24日)までとさせていただきます。
- (3) 分割払いをご希望の場合は半額以上を開講日までに、残金については支払予定日と金額を通信欄に明記願います。残額の最終納入期限は2024年8月31日とさせていただきます。
- (4) 申込み後のキャンセルは、直接当本部までお電話ください。但し、4月19日以降はキャンセル料を頂戴いたします。
 - ・4月19日～23日 参加費の 50%
 - ・4月24日以降 参加費の100%

4. その他

- (1) 1口2名登録制となりますので、1例会に2名ご参加いただけます。毎月の例会ごとに、登録メンバー以外の方が交代でご出席いただいても結構です。
- (2) 講演は録音不可(オフレコ)となっておりますので、ご欠席の場合は代理出席をご配慮いただけますと幸いです。

お申込みの流れ

<参加者がお決まりの場合>

正式申込み

<参加者がお決まりでない場合>

予約申込み

WEBより申込み【**先着順**】

九州生産性大学

検索



※必要事項をご記入の上、お申込み・ご予約をお願いします。

「申込受付メール」が自動配信が届きます

※この時点ではまだ申込確定ではございません。

「予約受付メール」が自動配信が届きます

※この時点ではまだ予約確定ではございません。

※30分以内に自動配信メールが届かない場合は、裏表紙記載のお問い合わせ先までお電話ください。

「申込確定メール」が届きます

「申込確定メール」をもって受付完了といたします

※当方で入力内容、空き状況等を確認後、受付を確定いたします。

※①請求書 ②開講課程のご案内 のURLを記載した申込確定メールをお送りいたします。

「予約確定メール」が届きます

「予約確定メール」をもって受付完了といたします

※予約は**3週間(21日)有効**となっております。**有効期限を過ぎると無効となりますのでご注意ください。**
なお、3月30日(土)以降の予約については、有効期間が申込締切日の4月18日(木)までとなります。

「請求書」をダウンロードし
振込手続きをお願いします

「開講課程のご案内」をダウンロードし、
ご確認ください

正式申込み

参加者が決まり次第、予約確定メールに記載のURLより正式申込みをお願いします

◆ お問合せ先

公益財団法人九州生産性本部「九州生産性大学経営講座」係

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2丁目1-82 電気ビル共創館6階

TEL. 092-771-6481 FAX. 092-771-6490

生産性運動の三原則

雇用の維持・拡大

生産性の向上は、究極において雇用を拡大するものであるが、過渡的な過剰人員に対しては、国民経済的な観点に立って能う限り配置転換その他により、失業を防止するよう官民協力して適切な措置を講ずるものとする。

労使の協力と協議

生産性向上のための具体的な方法については、各企業の実情に即し、労使が協力してこれを研究し、協議するものとする。

成果の公正配分

生産性向上の諸成果は、経営者、労働者および消費者に、国民経済の実情に応じて公正に配分されるものとする。

生産性の精神

生産性とは、何よりも精神の状態であり、現存するものの進歩、あるいは不断の改善をめざす精神状態である。

それは、今日は昨日よりもより良くなし得るという確信であり、さらに、明日は今日に優るという確信である。

それは、現状がいかに優れたものと思われ、事実また優れていようと、かかる現状に対する改善の意志である。

それは、条件の変化に経済社会生活を不断に適應させていくことであり、新しい技術と新しい方法を応用せんとする不断の努力であり、人間の進歩に対する信念である。

(ヨーロッパ生産性本部ローマ会議報告書より 1959年3月)

公益財団法人 九州生産性本部
「九州生産性大学経営講座」



〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2丁目1-82 電気ビル共創館6階
TEL 092-771-6481/FAX 092-771-6490
URL <https://qpc.or.jp/> E-mail support@qpc.or.jp